

- No.1 Q. 提案書に指定のフォーマットや要件（文字数、項目、内容）はありますか？
A. ナインシグマの提案プラットフォームである"NineSights"の応募フォームに沿った形で記入いただく必要はございますが、その中での記載方法については特に制限を設けておりません。お持ちのアイデアが十分に伝わるように記載いただけますと幸いです。
なお説明に際し添付資料を提出いただくことも可能ですので、必要に応じて活用ください。プラットフォームへの添付ができない場合は、メールでの提案も受け付けております。
- No.2 Q. 提案可能アイデア数に制限はありますか？
A. 提案いただくアイデアの数に制限はございません。同一の方、あるいはチームで複数のアイデアをお持ちの場合は、それぞれのアイデアについて応募いただければ、アイデア毎に審査させていただきます。
- No.3 Q. 他組織との共同提案は可能でしょうか？その場合、提案書は誰が提出すべきでしょうか？
A. 複数組織での共同提案も歓迎しております。提案時にその旨を記載いただき、各組織名がわかるようにご記載いただければ問題ございません。提出は代表者であればどなたでも結構ですが、技術面での実施可能性・特徴が分かるよう研究者が記入することを勧めております。
- No.4 Q. 活動に参加するチームの規模・人数に制限はありますか？
A. 提案時にはチームの規模を問わず、また複数組織による共同提案も可能です。ただし、採択された際にはいすゞとのどのような形でのコラボレーションが可能か、改めて協議させていただくこととなります。
- No.5 Q. どのような言語での提案を受け付けていますか？
A. 英語または日本語での提案が可能です。
日本向けウェブサイト (<https://www.isuzu.co.jp/innovation/>)、
グローバル向けウェブサイト (<https://www.isuzu.co.jp/world/innovation/>)
がございますので、好きな言語でご応募ください。判断にお困りの場合は、ナインシグマまでお問い合わせください。
- No.6 Q. 特に注力したい領域や、対象外の領域はありますか？私の保有している技術が対象になるかどうか判断がつきません。
A. 今回の募集では、世の中にインパクトを与え得る新規性の高い提案を募集するために、あえて重点領域を設けていません。どのような領域の提案でも採択の対象となり得ます。判断が難しい場合は、ぜひナインシグマまでお問い合わせください。

- No.7 Q. 事業領域としての対象地域、特に注目する地域はありますか？
A. いすゞは世界の27か国に事業拠点をもち、そのうち6か国には研究拠点をもちグローバルカンパニーであることから、事業の対象地域も特に限定していません。望ましい展開地域や開発地域があれば、提案書の中で参考としてご記載ください。
- No.8 Q. いすゞの既存事業（自動車や輸送）に関係する提案とする必要はありますか？車両産業を大きく変える提案でも問題ないでしょうか？
A. 既存事業に関係しないもの、既存事業のあり方に影響する提案でも全く問題ございません。これまでの枠をはみ出した価値創出機会を求めており、提案のインパクトは一つの大きな評価指標となっております、そのような提案も歓迎しております。
- No.9 Q. 提案のビジネス規模はどの程度を想定していますか？
A. 規模は特に限定しません。もちろん社会的なインパクトがある大きなビジネスになることは歓迎しますが、規模として小さくても技術的に大きなインパクトになる可能性もあるため、あらゆる規模のアイデアを歓迎します。
- No.10 Q. 提案する内容は、アイデアのみやコンセプト段階でも対象となりますか？完成されたソリューションや、PoCのためのプロトタイプがあることが条件となりますか？
A. アイデアの募集ではありますが、理論的な根拠・裏付け、あるいはデータに基づく根拠・裏付けがあることは前提としてお考えください。ただし現時点での技術の実装・確立が必須ではなく、「理論的にこういうことができそうだ」「こういう開発をする余地がある」といった提案も歓迎しております。
もちろん具体的なソリューションやプロトタイプ、シミュレーション、財務予測などは提案を判断するのに有用な情報となりますので、ぜひ合わせて記載・ご提出ください。
- No.11 Q. 応募にあたり、立場上の制限や優先度はありますか？またアカデミック、スタートアップ、企業など募集対象となる組織はありますか？
A. 本プログラムの応募にあたり、立場的な制限・制約や優先度基本的にございませんので、AIを活用した新しいアイデアをお持ちであればどなたでもご応募いただけます。個人からの応募や、いすゞの関連会社社員からの応募も受け付けております。
- No.12 Q. 提案が採択されたあと、提案者とどのようなコラボレーションが発生し、どのような成果物が期待されますか？

A. 採択後、まずは提案されたアイデアに対するPoCを実施します。その後は提案組織と協議のもとあらゆる可能性があり、共同開発、提案組織への投資、いすゞグループに入っただけ等も含め想定しております。

No.13 Q. 協業によって得られた成果物・知的財産の権利は誰が所有しますか？

A. プログラム終了後の協業の成果として得られた知的財産、取得した研究設備等の取扱いについては、採択後に別途契約にて取り決めることとします。また、プログラムに応募される提案に含まれる知的財産は提案者に帰属します。詳しくは応募規約をご確認ください。

No.14 Q. 提案書作成・提出から採択までの間で、提案を改良する機会やナインシグマ・いすゞからのフィードバックなどはありますか？

A. 提案書作成段階では、締め切り期日（11月30日）の前であれば提出後でも修正いただくことが可能です。また作成に際し不安な部分があれば、ナインシグマが問い合わせとして可能な範囲で回答させていただきます。
内容に関するフィードバックは、書類審査時に事務局と審査員で協議したのち、面談審査のまえに質問や追加要望として共有することを想定しています。

No.15 Q. いすゞが現在直面している課題をよりよく理解するために、いすゞの社内データやケーススタディにアクセスすることはできますか？

A. 本コンテストの範疇では、いすゞの内部情報を開示することはないとお考え下さい。ただし提案採択後のPoCの際には、別途契約締結のうえ社内データをお渡しする可能性は想定しております。PoCに際し必要なデータがあれば、提案書に具体的に記載ください。

No.16 Q. PoC検証のタイムラインはどの程度を見据えていますか？

A. 提案内容によって協議のもと決定するが、いすゞの目安としては最長でも1年程度を想定しています。技術検証であれば、AI技術の変化スピードを考慮し数か月程度で数回行う可能性もあります。
なお検証に長期間かかる場合は、期間や検証内容・必要費用等に応じて分割して実施することも考えられます。

No.17 Q. コンテストの終了後の提案内容の取り扱いについて教えてください。

A. 受領したアイデアは採用・不採用に関わらず、応募者の事前の承諾がない限り、本プログラム実施に必要な範囲（審査・選考・通過後の事務連絡等）にのみ利用されます。詳細については本プログラムの応募規約をご確認ください。

No.18 Q. 提案内容に対する費用の補助はありますか？

A. ご提案内容に応じて、研究費やPoC費用の提供を個別に協議させていただきます。PoCを経た成果によって取り組みを継続する可能性もあります。